

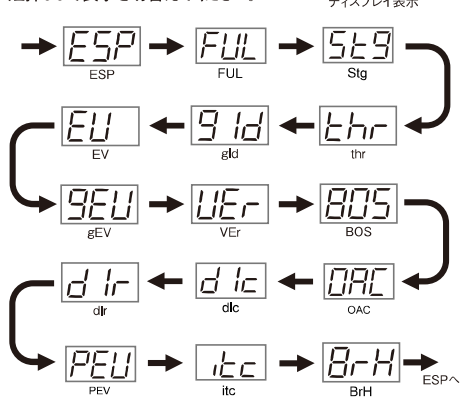


コントローラのディスプレイ表示

- 「DISP/SET」ボタンを短押しして、各機能をコントローラのディスプレイ部に表示出来ます。
- ON/OFF設定の切替は、各モード表示状態で「DISP/SET」ボタンを長押ししてください。

操作方法

表示切替は、「DISP/SET」ボタンを短押しして表示を切替えてください。



ディスプレイ表示	説明
ESP	エンジン回転数(x10rpm)を表示します。例表示250→2500rpm ※停車時(エンジン回転数0rpm)時は現在のスロコンのモードを表示
FUL	燃料残量(L)を表示します。 ※20L未満より表示します。20L以上ではFUL表示のままになります。
Stg	ステアリングアングル(°)を表示します。 ※「DISP/SET」ボタンを押し続けてステアリング位置調整モードに入ります。数値が点滅表示するので、0°位置と思われる位置の角度を▼Mode▼RDYボタン、▲Mode▲ボタンで設定してください。 ※DISP/SETボタン短押し、もしくは長押しで設定完了します。
thr	アクセル開度(%)を表示します。 ※停車時でアクセル開度が0%の時は現在のスロコンのモードを表示
gld	グライダー率(%)は、エンジンスタート(パワーON)～現在まで間のグライダー走行をした距離の割合を表示します。 ※グライダー率を伸ばすことが燃費を伸ばすことにつながります。30%程度まで伸ばすことも可能です。
EV	EV率(%)は、エンジンスタート(パワーON)～現在まで間のEV走行をした距離の割合を表示します。 ※ランプが点灯中に走行中であればカウントされています。(回生ブレーキ時なども含まれます。)
gEV	グライダー率+EV率(%)は、エンジンスタート(パワーON)～現在まで間でグライダー走行またはEV走行をした距離の割合を表示します。 ※gldとEVを単純に足してもgEVとなるわけではありません。
Ver	プログラムのバージョンを表示します。
BOS	ブレーキ・オーバーライド・システムのON/OFF設定 ON: ブレーキとアクセルを同時に踏んだ時にブレーキを優先し、アクセルを無視します。(工場出荷時設定) OFF: 同時に踏まれてもブレーキ優先制御は働きます。 ※坂道発進が多い時などはOFFをお使いください。
OAC	オーバー・アクセル・キャンセラーのON/OFF設定 ON: 停止時及び徐行時(前進/後進 10km/h未満※1)において、アクセルペダルが急激に踏み込まれた際にアクセル開度を制御し、急発進を抑制します。 OFF: 急激に踏み込まれてもアクセル開度を制御しません。(工場出荷時設定) ※1: 10km/h未満に設定された速度との許容誤差があるため、実際の速度とは異なる可能性があります。
dlc	シフト連動ドロック機能のON/OFF設定 ON: プレンジングから他レンジに変更された際にドロック信号を出力します。(工場出荷時設定) OFF: ドロック機能が働きます。
dlr	ドロック・リリース機能のON/OFF設定 ON: 急ブレーキ検出後の停止時にドロックに解除信号を出して車内の閉じ込めを防止します。 (車体が変形するほどの衝撃を受けた場合はドアが開かない場合があります。)(工場出荷時設定) OFF: 急ブレーキを検出してもドロック・リリース制御は働きます。 ※ドロック・リリース制御でドロック解除された後、走行して約20km/h以上の速度となると、改めて自動ドロックが働きます。
PEV	プレンジング時における「勝手にEV」によるEVモード移行設定 ON: プレンジング時に「勝手にEV」によるEVモード移行を許可します。(工場出荷時設定) OFF: プレンジング時に「勝手にEV」によるEVモード移行を禁止します。 ONの場合、ハイブリッドシステム起動(READY)時に電池容量に余裕があるEV走行から始まりますので、燃費は節約出来ます。 ただし、エンジンがからずヒーターが温まらないため冬場等ヒーターを後流ししない場合はOFF設定にしてください。
itc	インテリジェンスクルーズ中のON/OFF設定 ON: 純正クルーズに連動してインテリジェンスクルーズ走行を行います。 OFF: インテリジェンスクルーズ走行を行います。(工場出荷時設定) ※インテリジェンスクルーズは、加速の増減を伴うので制限速度に注意してください。
BrH	オートブレーキホールドのON/OFF設定 ON: システムを起動させて、シートベルトを着用するとブレーキホールド機能が自動でONになります。 OFF: OFF自動でブレーキホールド機能がONにしません。 ※本機能はオプションの「勝手にEV(EGP611)」を取付けた場合に有効になります。

●エンジン始動直後は、前回の走行で取得したグライダー率+EV率 gEV (gEV)を点滅表示します。前回の走りをイメージして、燃費走行の改善にお役立てください。  
※この点滅表示はエンジン始動後、最初のグライダー走行になるまで続きます。

●車をReady状態でコントローラディスプレイの▼Mode▼RDY、▲Mode▲ボタンを押すとエコグライダーの機能をON/OFFできます。  
OFF状態 nor ON状態 SPt Stc EC1 EC2  
のいずれかを表示します。

グライダーモード機能

燃費向上の秘策、「グライダーモード」とは

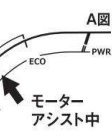
●「グライダーモード」とは、普通にアクセルを踏み、一定速度(約20km/h以上)まで速度を上げた後、回生ブレーキが掛からない疑似ニュートラル状態を本製品で作り、ガソリンを使用せず惰性走行(グライダー走行)するモードです。このグライダーモード走行をくり返し使用することで燃費向上に繋がります。

グライダーモードの使用方法

- グライダーモードの条件
    - シフトをD(ドライブ)レンジにします。(Bレンジでは作動しません)
    - バッテリー残量4メモリ以上。
    - 平地及び緩やかな下り坂を走行中であること。
    - 推奨する車速(目安)、約20km/h以上。
  - グライダースタンバイ状態にする
    - アクセルを踏み一定速度(約20km/h以上)まで速度を上げ、アクセルから足を離します。
  - グライダーモード走行を行う
    - 「グライダーモード」状態になったら、アクセルを少しだけ踏むと「グライダーモード」に入ります。
    - 「グライダーモード」になるとコントローラの3つのボタンが点滅し、「グライダーモード」に入ったことをお知らせします。
    - A図の状態でも安全に惰性走行(グライダー走行)を行えますが、徐々に速度が落ちてきたら、車の流れに合わせてアクセルを踏み、また一定速度まで速度を上げてください。
- この動作を繰り返し行うことで、燃費向上に繋がります。



約20km/h以上の走行時



燃費改善の秘策 HSIアシスト

グライダー走行中はA図のようにHSIの針が少しだけECO側に振れます。これはグライダー中でも、モーターアシストを行い、速度低下を少ない電力で防いでいるからです。

スロットルコントロール機能

- スロットルコントロールとは、電子制御スロットルを搭載したお車のアクセルレスポンスを制御する電子パーツです。電子制御スロットル車は、燃費改善を優先するようにコンピューター制御されている場合も多く、「スムーズに発進・加速しない」、「車が感く遅い」といった印象を受け、ストレスを感じる場合があります。そのレスポンスをコントロールできるのが、スロットルコントロール機能です。発進時のアクセルレスポンスをアップさせ、まるで排気量アップをしたかのような加速感が得られます。
- 本製品のスロットルコントロール機能をONにすることで、スロットルコントロール機能が働き、踏み込んだ量(アクセル開度)と、出力量(スロットル開度)を制御します。

車側のドライブモードと連動するスロットルコントロールマップ

- 車側のドライブモードに連動して走りが変わる新発想のスロットルコントロールです。シチュエーションに合わせてお好みで各マップをお選びください。
- 各ドライブモードに割り当てるスロコンマップは▼Mode▼RDYと▲Mode▲ボタンを押して選択可能です。最後に選んだスロコンマップが記憶され、次回からも自動で割り当てられます。

スロコンモード	エコグライダーGT+ スロットルコントロールマップ	説明
SPORT	SPt	・パワフルなスポーツマップ
NORMAL	Stc	・パワーとエコをバランス良く設定したストリートマップ
ECO	EC1	・純正エコモードより走り出しを良くしたエコマップ
	EC2	・走り出しをゆっくりにして、アクセルの踏み過ぎによる燃費悪化を改善したエコマップ

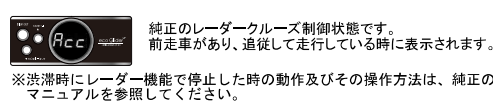
警告

- 走行中にモードの変更を行わないようにしてください。アクセル感覚が急激に変わり重大な事故に繋がるとの恐れがあります。
- 本製品は、体感的なパワーを得ることは出来ますが、エンジン出力が向上するものではありません。

純正運動 インテリジェンス クルーズコントロール

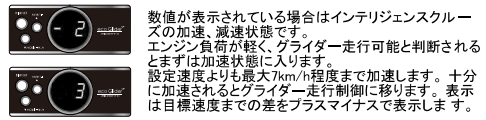
- 純正のクルーズ操作ボタン(レバー)で操作します。従いまして、純正マニュアルのクルーズ操作説明を熟読してください。クルーズキャンセル、リセーム機能等、純正操作により行います。
- ※エコグライダー側での操作は特に必要ありません。
- ※純正のクルーズ機能が動作している間はエコグライダーの操作は出来なくなります。

インテリジェンスクルーズ中の表示画面



●純正のレーダークルーズ制御状態です。前走車があり、追従して走行している時に表示されます。  
※渋滞時にレーダー機能が停止した時の動作及びその操作方法は、純正のマニュアルを参照してください。

●エコクルーズ(Ecc)は設定速度を保つように一定速度で走行します。下り坂でエンジン負荷が小さいときは設定速度+10km/hまで許容して次の上りに備え燃費向上を目指します。  
※制限速度や周囲の交通状況に常に気を配り安全運転を行ってください。



●数値が表示されている場合はインテリジェンスクルーズの加速・減速状態です。エンジン負荷が軽く、グライダー走行可能と判断されるときは加速状態に入ります。設定速度よりも最大7km/h程度まで加速します。十分に加速されるとグライダー走行制御に移ります。表示は目標速度までの差をプラスマイナスで表示します。

このグライダー走行状態は下り坂などで設定速度+約10km/hまで継続します。設定速度+約10km/hを超えるると回生ブレーキまたはエンジンブレーキが作動します。  
※制限速度や周囲の交通状況に常に気を配り安全運転を行ってください。

●グライダー走行では加速の状態があります。カーブなどでコーナリング中に加速を行うと危険な場合や心理的に恐怖を感じる場合があります。従って、一定のステアリング操作以上ではグライダー制御による加速を中断します。この表示の状態ではステアリング操作があった時の速度を維持し加速制御を行いません。※コーナリング速度を自動的に調整してくれる機能ではありません。※設定速度は周囲の交通状況に合わせて無理のない速度を設定してください。

トラブルシューティング

- “ハイブリッドシステムエラー”表示の時は安全な場所に停車し、エンジンを止め、以下の次項を確認してください。
- グライダー機能をOFFの状態(nor表示の状態)で問題なく走行が可能か?
    - 走れる ▶ 配線を確認後、アクセル開度設定を行ってください。
    - 走れない ▶ アクセル関連の異常が考えられます。配線をご確認ください。
  - アクセルを踏んでも車が加速しない
    - アクセル開度設定を行ってください。

注意

- アクセル開度設定は通常行方必要ありません。(工場出荷時に設定済み)
- アクセル開度設定を行う際は、エアコン、オーディオなどの電装機器をすべてOFFにして行ってください。これを行わないと正しい設定が行えず、動作が不安定になる恐れがあります。

アクセル開度設定方法

- 「DISP/SET」ボタンを押しながら、クルマの【POWER】ボタンを2回押ししてイグニッションON状態とさせていただきます。(エンジンは、かけません)  
※その際にブレーキは、踏まないようにして、電圧降下を防止します。
- ディスプレイに「ALO」と表示され3回点滅し、電圧160前後が表示されますので、アクセルを踏まないで「DISP/SET」ボタンを押してください。  
※車種により、電圧の値は異なります。
- ディスプレイに「RH」と表示され3回点滅し、電圧がディスプレイに表示されるので、アクセルを床まで踏み込んで「DISP/SET」ボタンを押してください。
- ディスプレイは、通常モードに戻ります。
- ブレーキを踏んで、お車のPOWERボタンを押し、シフト(エンジン)をスタートしてください。
- アクセルを何度か踏み込んで問題なくエンジンが反応することを確認してください。  
※アクセル開度設定がうまくいかない場合は、もう一度操作方法をよく読み、最初からやり直してください。

注意

- 全てを確認しても走行に異常がある場合  
販売店、お取付けになったカーディーラー、修理工場、当社お客様相談センターにお問合わせください。
- ハイブリッドシステムエラー  
走行に不都合がなく復旧したお車のハイブリッドシステムエラー表示が消えない場合は、一度エンジンを停止させてからしばらく時間を空けて、始動と停止を数回繰り返すと症状が解消される場合がございます。アクセルハーネスが接続されていない場合、ハイブリッドシステムエラーが起りやすいのでその際は配線確認をってください。